

# 3Q連結経営成績 - 前年同期比較

当3Qの最終損益は前年同期比で2.7億円の悪化となりましたが、1.7億円はファイナンスによる一時費用、1億円は研究開発費等の販管費の増加によるものです。下期より販売開始した新製品については、第4四半期より本格的に売上に寄与していきます。

【2015年3月度第3四半期：連結損益計算書】

単位：百万円

項目	2014/3期 第9期3Q	2015/3期 第10期3Q	増減額	コメント
売上高	270	349	79	単体 +17M (腰タイプの新製品の上市) 子会社 +62M (本格稼働開始)
売上原価	105	271	166	子会社 +145M (実証試験や国内補助事業コスト含む)
売上総利益	165	78	-87	
研究開発費	317	503	186	新製品の開発や臨床研究の加速
その他 販管費	454	763	309	ファイナンス一時費用 +71M、 子会社 +103M (国内補助事業費用を含む)
営業利益	-606	-1,188	-582	
営業外収益	159	616	457	研究助成金等 +254M 国内事業補助金 +190M
営業外費用	4	138	134	ファイナンス一時費用 +99M、 固定資産圧縮損 +36M (補助金による取得額調整)
経常利益	-451	-710	-259	
当期損益	-451	-719	-268	

増益要因：売上高3割増加(+79M)、研究助成金収入(+254M)、国内事業補助金(+190M)

減益要因：ファイナンス一時費用(+170M)、研究開発費(+186M)、子会社事業費用(+248M)